

CSR レポート 2018  
編集発行及びお問い合わせ先

京都生活協同組合 CSR 推進室

住所 〒 601-8382 京都市南区  
吉祥院石原上川原町 1-2

TEL 075-672-6304

FAX 075-661-4311

ホームページ

<https://www.kyoto.coop/>



公式 facebook ページ

<https://ja-jp.facebook.com/kyotocoop/>



 京都生活協同組合

本部 〒 601-8382 京都市南区吉祥院  
石原上川原町 1-2

理事長 畑 忠男

創立 1964 年 11 月 27 日

事業活動エリア 京都府全域

事業所 支部 10 / 店舗 17

介護事業所 8( デイサービス含む )

葬祭事業 1

子会社・関連会社 5 社

2017 年度概況 (2018 年 3 月 20 日

現在)

組合員数 53 万 8216 人

事業高 779 億 3670 万円

出資金 160 億 7373 万円

職員数 1652 人 (7.5H 換算)

3つのコープのココロ

**KYOTO  
COOP**

KYOTOCOOP マークにある3つの○は、  
「安全・安心・信頼」の提供と  
「くらし・平和・民主主義」を守るという、  
コープの大切なココロをあらわしています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

- 大豆油インキを含む植物油インキを使用しています。
  - 古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用しています。
- このマークは、3R 活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。

 京都生活協同組合

CSRレポート 2018

事業・社会・環境活動についての報告書

**KYOTO  
COOP**



京都生協キャラクター  
「ぎょうまる」

特集 京都からできることを  
SDGs について考える





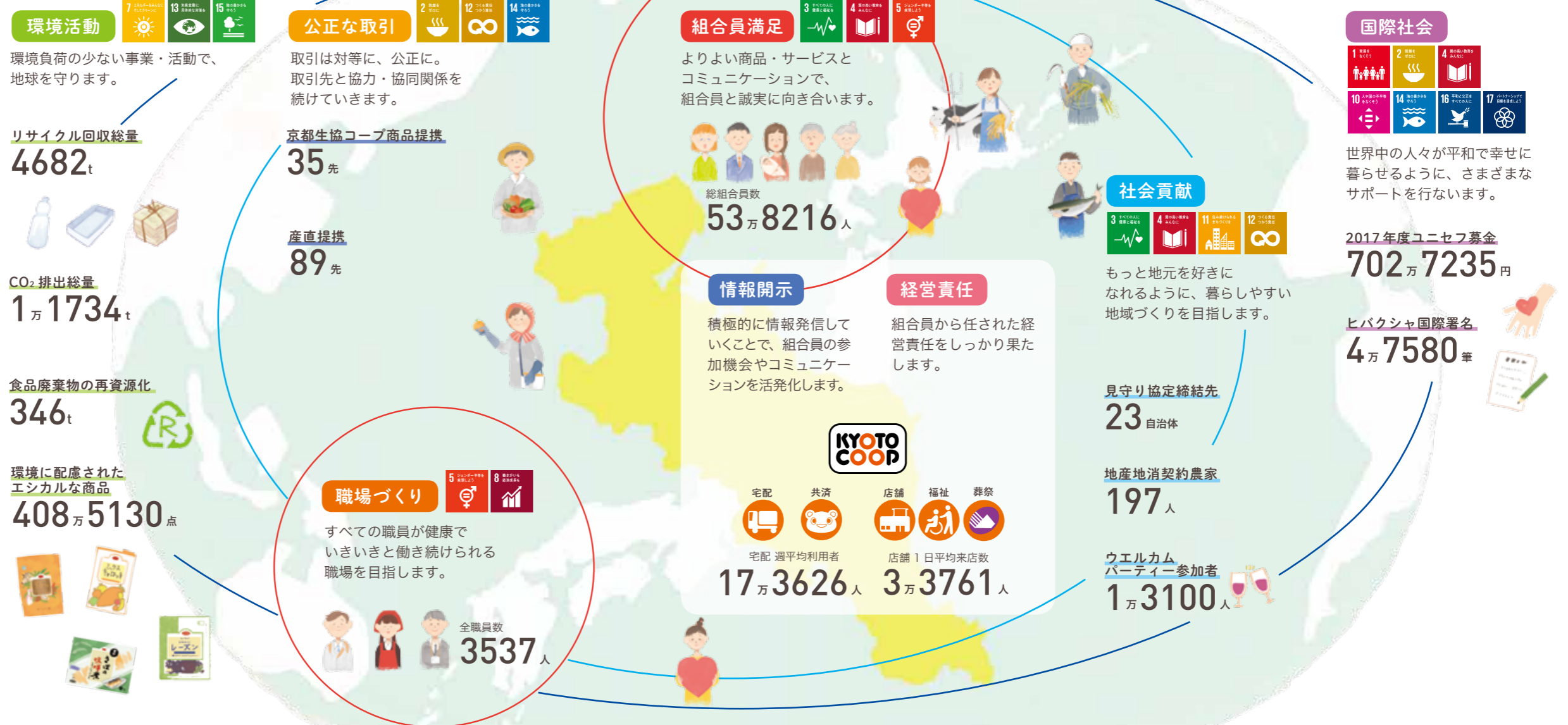
理事長  
畑 忠男

地域の暮らしへの役立ちと、国際社会への貢献を目指して

京都生協は、新 21 世紀ビジョン『わたしの暮らし わたしたちの地域に 協同がはぐくむ 安心と笑顔を』の実現に向けて、事業と活動を行っています。暮らしを支えるということは、安心してらせる社会の実現ということでもあります。京都生協は地域社会の一員としての役割をより積極的に発揮していきたいと考えています。2017 年度は新たに、CO<sub>2</sub> 排出量や原子力発電に頼らない社会を考えると、りくみとして「コープでんき」の事業を開始、食品ロス削減を考えると、りくみとして地域のフードバンクと協力して「フードドライブ」を開始しました。

2018 年度も、組合員の暮らしを支える事業の充実、多くの京都府民から支持される京都生協にするために、組合員・職員はもちろんのこと、生産者や取引先、行政・地域諸団体等、関係者との連携を大切にしていきたいと考えています。2015 年国連総会で採択された「SDGs」(持続可能な開発目標)は、2030 年までに持続可能な世界・社会を実現するために確認されたものですが、協同組合の役割発揮が期待されています。今回の CSR レポートは、この SDGs の目標との関係で編集をしています。皆様から率直に意見を頂きながら、引き続き改善に努めてまいります。より一層のご支援とご協力をお願い致します。

京都から、世界まで。



私たちは、すべての方の  
よきパートナーであることを目指します。

京都生協は「平和でよりよい暮らし」を願ってつくられました。  
いままでも、これからも、すべての人が「平和」に、「よりよく」くらす地域社会をつくるため、京都生協は活動を続けています。

京都生協が考える 7 つの社会的責任

事業をすすめる組織として、人権尊重・法令順守は当然のこととしてとらえ、それ以外にも取り組むべき社会的責任について ISO26000 (社会的責任に関する手引) を参考に 7 項目に分け、まとめています。

1. よりよい商品・サービスの提供を通じて、**組合員の満足**を追求します。 **P.5**
2. 誰もが健康でいきいきと働き続けられる**職場づくり**をすすめます。 **P.8**
3. 取引先と対等な立場で、**公正な取引**と協力・協同の関係づくりをすすめます。 **P.10**
4. より**環境負荷の少ない**、事業・活動をすすめます。 **P.12**
5. **地域社会の一員**としての役割を積極的に担います。 **P.15**
6. 組合員参加・コミュニケーションを促進し、**情報開示**と説明責任を果たします。 **P.18**
7. 健全で強い事業経営を築き、組合員から負託された**経営責任**を果たします。 **P.20**



国際社会の一員として 京都からできることを

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略称で「持続可能な開発のためのグローバル目標」を意味します。2015年9月の国連サミットで採択されました。SDGsは貧困や飢餓、差別など、いま、私たちの世界が直面しているさまざまな問題を解決することを目指して作られました。2030年までの間、世界中の国々がSDGsの「17

のゴール」の達成に向けて取り組んでいくこととなります。SDGsを簡単に説明すると「一人ひとりが取り組む持続的な社会・地球環境を構築するための目標」です。将来の世代のための環境や資源を壊さずに、今の生活をよりよい状態にする「持続可能な開発」のために、定められたゴールに向かって、京都生協も組合員とともに努力していきます。

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p>  <p>あらゆる場所のあらゆる貧困を終わらせる</p>	<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p>  <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>  <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>  <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>
<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>  <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセントワーク)を促進する</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>強靱(レジリエント)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る</p>	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p>  <p>国内および国家間の不平等を是正する</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  <p>都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱(レジリエント)かつ持続可能にする</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>  <p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>
<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>  <p>海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p>  <p>陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>	<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p>  <p>持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>	<p><b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう</p>  <p>持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる</p>	<p><b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b></p>  <p>ロゴの17色のカラーホイール(GOALSのO)は、SDGsの17のアイコンを表現しています。</p>

SDGsと協同組合

- 2016年7月2日、国際協同組合デーにおいて、国際協同組合同盟(ICA)は、右のメッセージを発表しました。
- 協同組合は、上記の17の目標について事業と活動の関連性を確認し、多様な取り組みを進めながら、2030年目標達成に向けて、貢献していくことが求められています。

協同組合：持続可能な未来のために行動する力

2016年国際協同組合デーに向けた国際協同組合同盟(ICA)メッセージ

7月2日の国際協同組合デーでは、国連が掲げた17の「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた協同組合の貢献をたたえます。持続可能な開発目標は、貧困に終止符を打ち、気候変動に立ち向かい、全ての人々が平等な扱いを受け社会から取り残されないよう、2030年に向けて定められた意欲的な取り組み課題です。持続可能な開発目標では、飢餓の撲滅、食料安全保障、男女共同参画、全ての人に行きわたる成長、持続可能な生産と消費などを目指しており、価値と原則に基づき人々のニーズに応えるために存在している事業者として、協同組合は、持続可能な開発目標を達成するのにふさわしい協力者です。

日本生活協同組合連合会は、2018年6月15日に開催する第68回日本生協連通常総会で、特別アピールとして「コープSDGs行動宣言」を行ないます。

以下に予定している「**コープSDGs行動宣言**」(抜粋)を紹介します。

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献することを約束(コミット)します。私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。

私たちは、以下の7つの取り組みをつうじて、SDGsを実現していきます。

- |                                     |                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます。 | 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します。   |
| 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます。     | 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します。 |
| 誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。       | 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します。        |

ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します。



# 1 組合員満足



よりよい商品・サービスの提供を通じて、  
組合員の満足を追求します

## 食の安全・安心



## くらしの安全・安心



### 宅配 利用者 (週平均)

17万3626人

夕食サポート利用  
3143食

声のキャンパス利用者  
62人

コープでんき登録件数  
1万1543件

### 店舗 来店者 (1日平均)

3万3761人

いこいこシニアデー  
利用者数  
6万9295人

子育て応援登録件数  
3541人

### 福祉

介護サービス  
利用者数 (毎月)  
2033人

くらしの  
相談窓口相談件数  
274件

### 共済

医療・生命共済契約件数  
24万5441件

### 葬祭

「クオレ葬」利用  
695件



## 2017年度 TOPICS

- 食の安全・安心を守る微生物検査では2894検体の検査を行いました

### <宅配のとりくみ>

- 宅配では、個配手数料割引の対象を広げました

### <店舗のとりくみ>

- 2店舗の改装、1店舗の建て替えを行いました
- 電子マネー機能付きポイントカード「きょうまるカード」を発行しました



- 子育て応援デーを全店で展開しました

小学校入学前の子どもがおられる組合員を対象として、毎月第1、第3金曜日に店舗で割引が受けられるサービスです。以前は一部店舗のみでしたが、2017年度は実施店舗を全店に拡大し、子育て応援の登録件数は3541人となりました。

## CSR レポート 2017 読者の声を紹介します

- 品質だけにとどまらず社会課題にも配慮した「よい商品」を広げてください。

## くらしを支える5つの事業

宅配、店舗、福祉、共済、葬祭の5つの事業を通じて、  
組合員や地域のくらしを支えています。

### 宅配

週1回、注文された商品を決められた場所へ配達するシステムです。京都府全域をカバーし、商品をお届けしています。



### 店舗

日々の買い物を通じてくらしを応援しています。「コープにしがも」「コープ桃山」を改装、また「コープ京田辺」を建て替え、選ぶ・買う楽しみが広がりました。



65歳以上の組合員の買い物割引を行なう「いこいこシニアデー」利用者数は、全店で6万9295人(前年比113%)となりました。



お弁当を宅配する夕食サポートの利用は3143食に広がりました。



### 福祉

住み慣れたわが家で安心して暮らし続けられるよう、在宅での生活を支援しています。介護事業では約300人の職員(ヘルパー含む)が支援を行なっています。「福祉・くらし相談窓口」では、各事業やサービスと連携し、組合員からの問い合わせに対応しています。



### 共済

全国の生協組合員どうしの助け合いによる保障制度です。2017年度は3万7000件(前年比101%)の共済金を給付しました。保障について気軽に相談できる共済カウンターを11店舗に設置しています。



### 葬祭

「生協なら葬儀も安心」という組合員の願いからスタートしました。葬祭に関わる相談には年中無休で対応し、仏壇 仏具などの展示販売も行なっています。共済事業部と協力し「エンディングノートの書き方学習会」を開催しました。他にも葬祭ホール見学会や相続・遺言学習会など、組合員の学習機会を広げました。





## 食の安全を確保する取り組み

### 産直商品の産地



#### 〈産直点検の内容〉

- 産地から提出された仕様書<sup>(※)</sup>どおりに生産されているか？
- 使用した農薬・動物用医薬品がきちんと記録されているか？
- 選果場や加工施設の衛生管理、農場の管理が適切に行なわれているか？

2017年度点検実施89産地

※仕様書：商品に関する詳細な情報（農産物なら使用する農薬など、加工食品なら原料や製造方法など）が記載されている書類。

### 京都生協コープ商品工場



#### 〈工場点検の内容〉

- 仕様書<sup>(※)</sup>どおりの原料や方法で製造されているか？
  - 工場は整理整頓されているか？
  - 衛生管理が正しく実施されているか？
- 特に組合員への危害が想定される衛生管理に関わることや、ケガにつながるような異物混入の防止対策については重点的に確認しています。**

2017年度点検実施29取引先

**KYOTO COOP**

微生物検査  
2894 検体

理化学検査  
267 検体

商品の提供



組合員の声

### ■ 微生物検査と理化学検査

食中毒の主原因の約9割は微生物によるもの。つまり、食品中の微生物を正しく管理することが、安全な食を提供することにつながります。

生協では独自の基準を設け、微生物検査を行なっています。検査の対象は、京都生協コープ商品、一般の加工食品、店舗で製造された刺身や寿司、揚げもの、京都協同食品プロダクトで製造された刺身や肉、産直卵などです。さらに店舗の調理器具などのふき取り検査も実施しています。

理化学検査には食品添加物、残留農薬、放射性物質などの検査があります。検査する対象商品は、京都生協コープ商品・産直商品を中心に、コープラボ（コープきんぎ事業連合の検査センター）などの検査施設を活用しながらすすめています。



▲コープラボでの農薬検査の様子

「理化学検査」は食品中に残存している農薬、食品添加物、動物用医薬品などが、法的に問題ないことを確認する検査です。



▲微生物検査の様子

生協の検査の中で最も力を入れているのが微生物検査です。食品中の微生物が生協の基準に合格しているかを確認します。



▲加工施設の点検の様子

食品を加工している環境が正しく管理されていることが、安全・安心を守る上で一番大切。産地・工場に向向き、環境やしくみが整っていることを確認します。

### ■ 組合員の声を大切に

生協では商品を供給して終わりではありません。組合員の声を受けとめ、商品の改善を進めることも生協の大切な役割の一つと考えます。

## 2 職場づくり



誰もが健康でいきいきと働き続けられる職場づくりをすすめます



### ■ 2017年度制度活用実績

育児休職制度 活用者数 8人 (うち男性職員2人、女性職員6人)  
前年5人(うち男性職員1人、女性職員4人)

育児時短制度 活用者数 7人 (うち男性職員2人、女性職員5人)  
前年4人(うち男性職員1人、女性職員3人)

介護休職制度 活用者数 1人 (男性職員)  
前年1人(男性職員)



### 2017年度 TOPICS

- 障がい者雇用率は3.02%となりました
- 業務改善提案制度を活用し、34件の改善事例が提出されました

### 育児休職制度を活用した職員の声

仕事と子育てのバランスは大切なテーマだと思っています。長期間休職する事に迷いや不安はありましたが、わが子が最も成長著しい時期にともに過ごせた事は、かけがえの無い貴重な経験となり、育児休職を取ってよかったと思っています。



## だれもが輝ける職場を目指して

### 職員研修

各種研修により職員の成長を支援し、働きがいのある職場づくりをすすめています。

#### ● 若手フォローアップ研修

- 1年目研修：配属後の状況について交流してモチベーションアップ
- 2～3年目研修：働き方、今後のキャリアを考える

#### ● 職員自主研修会

「京都生協の理念と社会的役割や成果・これからのミッション」を考える

#### ● 海外研修

日本生協連が主催する「アメリカ西海岸流通セミナー」「欧州協同組合視察研修」に、3人の職員が参加

## クレドの作成

働く上での「行動指針」を職員自らがつくりました。

(P.9で詳しく解説)



## 各種制度の充実

多様な働き方に対応できるように、様々な制度を設けています。利用実績も増えています。

### ■ その他制度活用数等

	2017年度実績	制度内容等
高齢者嘱託制度 活用人数	6人(前年4人)	55歳以上の正規職員が勤務形態を選択できる制度
健康診断の受診率	94.4% (前年95.6%)	人間ドック利用人数 140人
ストレスチェックの受検率	95% (前年84%)	自身のストレス状態への気づきを促すことや、働きやすい職場環境を形成するために取り組んでいます。

### CSR レポート 2017 読者の声を紹介します

- いきいきと働き続けられる職場を目指していることが伝わってきました。



## もっといきいき働くために クレド\*を作成しました

※クレド……ラテン語で「行動指針」の意味

全職員が目指すべきビジョン<頼もしい隣人>に近づくための「行動指針」を作成し、実行するためのクレド・ミーティングを行なっています。

**KYOTO COOP**

**京都生協の職員ビジョン**  
**<頼もしい隣人たらん>**  
 地域にとって頼もしい隣人たる私たちは、  
 職場の仲間同士でもよき隣人であり続けます

**ビジョンに日々近づくための行動**  
**CREDO**

1. 私たちは **自分から進んであいさつをします**  
 ~ 気の利いた一言と共に相手の変化に気がつき、声をかけをします。
2. 私たちは **困っている人に自ら歩み寄ります**  
 ~ 人の痛みを感じる私たち。凹んでいる人に話しかけ笑顔に導きます。
3. 私たちは **身だしなみの清潔感を大切にします**  
 ~ 身につけるものや姿勢・歩き方・座り方で周囲を不快にしません。
4. 私たちは **相手の話・意見にいつも耳を傾けます**  
 ~ 話し上手より聞き上手!“話しかけやすい人”をめざしています。
5. 私たちは **安全・安心をなにより最優先します**  
 ~ 何か起きた後に寄り添うより、未然に防ぐことを大切にします。
6. 私たちは **いつまでも自分を高め成長を続けます**  
 ~ 何事も夢中になれば成長に。個々の成長で周囲にいい影響を与えます。
7. 私たちは **“チーム京都生協”の精神を大切にします**  
 ~ 全事業が“自分事”。強いファミリー感で互いを認め合うチームです。

### 事業所での クレド・ミーティングの様子



## 京都生協を変える第1歩! コトバの整理大作戦

「長年の事業やとりくみの中で、多くなり過ぎた言葉やスローガンを整理して、自分たちが本当に目指すものを明確にしよう!」と、若手を中心としたメンバーが立ち上がった「コトバの整理大作戦」。



「コトバの整理大作戦」メンバー

各部門から12人の職員が選ばれ、1年間、月1回のミーティングでみんなで意見を出し合い、ビジョンとクレドを作り上げました。

私たちコトバの整理大作戦メンバーが選んだビジョンは、初代理事長 能勢克男さんの「**頼もしい隣人たらん**」というコトバです。今回作成したこのクレドで、全ての職員が働きやすくなることを願っています。



京都生協は、**挑戦**し続けます。

## 3 公正な取引



取引先と対等な立場で公正な取引と協力・協同の関係づくりをすすめます

産直商品提携	89先
地産地消契約農家	197人
店舗 地場野菜コーナー供給高	2億7228万円
京都生協 コープ商品提携	35先

### 「地産地消」で目指すもの

「商品を通じた生産者と組合員のつながりが、地域の食糧自給率を向上させ、ゆたかな地域づくりを促す」ことを目指します。京都生協と農家はもちろん、店舗では地場野菜コーナーを設け、生産者が直接農産売り場に来ることで組合員との交流も生まれています。



### インタビュー

農産物の品質、畑の状態、商品への想い。すべて知っていただいた上で取引が始まります。

京都生協の地産地消担当の職員は、私たちの考えや想いをしっかりと面談で聞いてくれます。生産地にも何度も足を運んでくれて、畑の状況なども担当職員自らがチェック。書類や電話だけでなく、実物を見て話をしてくれるのが嬉しいです。「おいしい地場野菜を地元の消費者に届けたい」という想いは私たち生産者と同じですので、互いに協力し合っておいしい地場野菜を広めていきたいです。



## 京野菜マルシェディスプレイ コンテストで入賞しました!

京都府知事賞  
コープ醍醐石田



おいしおすえ京野菜キャンペーン実行委員会が主催の、府内量販店で魅力的な京野菜コーナーのしつらえを競うコンテストに参加し、コープ醍醐石田が京都府知事賞を受賞しました。他の店舗でも各賞を受賞しています。

京都農業協同組合  
中央会長賞  
コープ桃山



おいしおすえ京野菜  
キャンペーン実行委員会  
実行委員長賞

- コープ京田辺
- コープ城陽
- コープ祝園駅
- コープらくさい



### 2017年度 TOPICS

- 常設の地場野菜コーナーが全店舗に広がりました
- 商品大交流会での出展ブース数は86、虹のフェスティバルには延べ142の取引先に参加いただきました
- さくらこめたまごへの応援金は384万7970円でした
- サンゴ再生もずく基金として23万1524円を送付しました



## メーカー、生産者との連携で よりよい商品をつくる



「せいきょう虹の会」は、京都生協の取引先メーカー・生産者が集う会で、京都生協創立 20 周年を機に設立されました。以来、「共同互助の精神に基づき、会員相互の研修と親睦を図るとともに、京都生協との連帯を通じて、平和とくらしを守る生協運動発展と会員の事業発展に資すること」を目的にかかげて活動している頼もしいパートナーです。

## 持続可能な農業・漁業をめざして

### 生産者と協力した商品

#### さくらこめたまご

京都の休耕田、耕作放棄田を活用して飼料米をつくり、その飼料米を餌として京都で育てたにわとりが産んだ「さくらこめたまご」は、1個あたり1円が飼料米生産者と養鶏業者を支える応援金となっています。2017年度の応援金は384万7970円となりました。



生産者が農業・漁業を続けられるように、そして組合員においしい商品を提供し続けられるように、京都生協と生産者が協力しています。



#### サンゴ再生もずく基金

基金対象商品の「もずく」を購入することで、1商品あたり1円が沖縄のサンゴ礁再生を支援するための基金となるとりくみです。(株)井ゲタ竹内、恩納村漁協とともに行なっています。2017年度の応援金は23万1524円を恩納村漁協に送付しました。

## 「せいきょう虹の会」と行なう 組合員と生産者をつなぐとりくみ

組合員と生産者を結ぶ一大イベント

### 商品大交流会



「せいきょう虹の会」と協力し、第20回商品大交流会を開催しました。出展は86ブース、試食や展示のほか、各種イベントが催され、参加者は生協の取引先メーカー・生産者と交流を深めました。

各地域でのミニ交流会

### 虹のフェスティバル



組合員と「せいきょう虹の会」に参加する取引先の生産者・メーカーとの交流を目的に、各地域で「虹のフェスティバル」を開催しています。2017年度は、142の取引先の参加があり、24会場で開催しました。

## 取引先との協力・協同の関係づくり

### お取引先用コンプライアンス相談窓口

京都生協との取引に関わって、コンプライアンスに違反、またはその疑いがある場合に相談できる「お取引先用コンプライアンス相談窓口(外部窓口)」を用意し、すべての取引業者へ案内しています。

2017年度相談件数 **0** 件

### 「反社会的勢力との関係遮断」の覚書締結

2017年度、すべての取引先と「反社会的勢力との関係遮断」の覚書締結を完了しました。

### CSR レポート 2017 読者の声を紹介します

- 地産地消商品や生産者と協力した商品をもっと増やしてください。

## 4 環境活動



より環境負荷の少ない事業・活動を  
すすめます

リサイクル回収総量 **4682t**

CO<sub>2</sub> 排出総量 **1万1734t**

食品廃棄物の  
再資源化 **346t**

環境に配慮された  
エシカルな商品の  
取り扱い **408万5130点**

お買い物袋  
持参率 **92.9%**

ペットボトル  
キャップ回収量 **約399万個**

※ 2017年度に回収したキャップの収益(9万2900円)については、プラスチック再生事業者を通して、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」へ寄付しました。

▲本部商談室のグリーンカーテン

### 2017年度 TOPICS

- 京都府地球温暖化対策条例に基づく排出量削減計画制度(第二計画期間)優良事業者として表彰されました



店舗の建て替え時に環境に配慮した設備や照明(LED)に変更したり、使用している電気やガスをこまめに管理して、大幅なエネルギー削減とCO<sub>2</sub>削減を実現した点が評価されました。

- 環境について組合員とともに考える機会を広げました

例年のマイバッグ運動や容器包装リサイクルの取り組みに加え、2017年度は組合員が楽しみながら環境について学び、考えられる機会としての学習会や取り組みを多く開催しました。

各事業単位の詳しい環境数値は  
ホームページに掲載しています

京都生協ホームページはこちらから

[https://www.kyoto.coop/coop/torikumi\\_kankyuu/kankyo\\_index.html](https://www.kyoto.coop/coop/torikumi_kankyuu/kankyo_index.html)



### CSR レポート 2017 読者の声を紹介します

- コープでんきの広がり期待しています。



## 環境への考え方 (SR・社会的責任)

京都生協は、人間と環境との調和をベースに自然と社会の仕組みを相互関連の中で総合的に捉え、「持続可能な社会の実現への貢献を最大化」することが最重要課題のひとつであることを認識し、組織をあげてSR(社会的責任)活動の向上とともに環境負荷の低減に努めます。

- 地球温暖化防止について、自主的に目標を設定、行動を行なっています
- 地球環境のためにマイバッグ持参運動やリサイクルを推進しています
- 食品廃棄物の削減・再資源化に取り組んでいます


## SR(社会的責任)・環境目標と実績


A 良好(100%以上達成)、B やや不足(90%以上達成)、C 不適合(90%未)


環境目標	評価	2017年度の取り組み
CO <sub>2</sub> 排出総量の削減に取り組み、2015年度比±0%の削減を目指します。そして2020年度までには2005年度対比で15%削減します。	B	排出量は11,734tで2015年度比+1.3%(2005年度比▲20%)でした。コープにしがものリニューアルやコープ西陣の閉店で削減が進みました。一方、コープ京田辺の建替オープンや宅配事業の燃料などで増加がありました。
環境配慮型商品の普及に取り組み、供給数量2015年度比118%を目指します。	A	供給数は408万点で2015年度比142%でした。MSC認証商品、レインフォレスト・アライアンス、特別栽培農産物などの供給が伸びました。
食品リサイクルに取り組み、リサイクル率45%を目指します。	B	リサイクル率は43%でした。店舗で野菜くずのバイオガス化によるリサイクル量が増えました。
リサイクル回収に取り組み、リサイクル率2015年度比103%を目指します。	B	回収総量は4682tで2015年度比101%でした。卵パックは増加、宅配カタログ回収は変わらず、牛乳パックとトレートペットボトルは減少しました。
タブレット等を活用した会議をすすめ、ペーパーレス化を推進します。 ①本部店舗運営部と②CSR推進室・組織運営部の用紙・印刷代を2016年度比60%に目指します。	B	印刷費用の削減率は2016年度比73%でした(①本部店舗運営部89% ②CSR推進室・組織運営部67%) タブレットで会議をすすめたことと日々の印刷削減で減少しました。
地域社会の要望にもとづいて100回以上の施設見学や研修等の受け入れ、学習会を実施します。	A	店舗見学・職場体験・インターンシップ受け入れなどの研修の受け入れ58回、学習会57回の計115回実施しました。


## 環境配慮型商品の普及


エコマーク、有機JAS、MSC認証などの社会的に認知された外部基準をクリアし、認証を取得した商品の普及にも取り組んでいます。

**CFP**  **利用点数 74万9801点** (前年比98%)  
**利用金額 3億3828万円** (前年比143%)  
商品を原材料から作り、運び、消費者が使い、廃棄・リサイクルされるまでにCO<sub>2</sub>がどれだけ排出されているか計算し商品に表示したもの

**FSC**  **利用点数 96万6359点** (前年比122%)  
**利用金額 3億9669万円** (前年比129%)  
森林の環境保全に配慮し、地域社会の利益にかなう、経済的にも持続可能な形で生産された木材を使用した製品

**MSC認証**  **利用点数 44万5498点** (前年比260%)  
**利用金額 1億6743万円** (前年比160%)  
海の資源を枯渇させないよう、量や漁法・漁の時期などに配慮した水産製品

**エコマーク**  **利用点数 89万7441点** (前年比147%)  
**利用金額 3億9304万円** (前年比132%)  
生産から廃棄を通して環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品

**レインフォレスト・アライアンス**  **利用点数 15万2266点** (前年比331%)  
**利用金額 7499万円** (前年比582%)  
環境面・経済面・社会面での厳しい基準をクリアした農園経営への認証

**特別栽培農産物** **利用点数 1万9599点** (前年比178%)  
**利用金額 3964万円** (前年比234%)  
生産された地域の慣行栽培と比べて農薬の使用回数50%以下、化学肥料の窒素量を50%以下で作られた農産物とその製品

## 組合員とともにすすめる環境のとりくみ

### 学習会 子どもたちと一緒にフードロスを学ぶ もったいない鬼ごっこ

「フード(食品)ロス」や「地球温暖化」をテーマに、夏休み子どもエコ教室を開催しました。国際協力NGOハンガー・フリー・ワールドに協力いただいた「もったいない鬼ごっこ」では、食品が「生産」→「加工」→「流通」→「消費」の過程をたどって食卓にのぼるまでに、まだ食べられるのにさまざまな理由で廃棄される様子(フードロス)を、鬼ごっこで体験しました。京都生協は環境のとりくみを通じて、子どもたちが



買って買物や食事の「もったいない」について考える機会づくりを行なっています。  
◀島津アリーナで開催したもったいない鬼ごっこ

### イベント エコって楽しい、おもしろい! エコ・アクション

自分の身近でできる環境にやさしいとりくみの写真コンテストを開催しました。組合員は思い思いの「エコな活動」を投稿し、みんながエコについて考えるきっかけをつくりました。

組合員が環境について自ら考えて取り組む機会の提供や、組合員の協力を得て行なう環境のとりくみをすすめています。

### 協力 FSC®認証林を歩いて学ぶ FSC認証ハイキング




FSC®認証林の「三井物産の森 清滝山林」をハイキングしながら、持続可能な森林についての学習を行ないました。三井物産フォレスト(株)やFSCジャパンの方から世界的な森林減少の実態、森の管理の難しさ、食物の連鎖やスギやヒノキなど木々の特性などの説明を受け、環境について学びました。

### エネルギー 「コープでんき」の普及

2017年4月より「原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換」の立場を大切にしながら、より経済的な料金で電気を利用できる「コープでんき」の普及に努めました。

2017年度は合計385万3606点の利用がありました

**利用点数 89万7441点** (前年比147%)  
**利用金額 3億9304万円** (前年比132%)

**有機JAS**  **利用点数 18万8284点** (前年比83%)  
**利用金額 6378万円** (前年比102%)  
一定の基準で農業や化学肥料を使用しないで作られた農産物とその製品

**利用点数 15万2266点** (前年比331%)  
**利用金額 7499万円** (前年比582%)

**バードフレンドリーコーヒー** **利用点数 3414点** (前年比72%)  
**利用金額 158万円** (前年比75%)  
シェードグロウン(木陰)栽培で有機栽培されたコーヒーの認証。環境と動植物保護に配慮したコーヒーの栽培を推進する商品

**利用点数 1万9599点** (前年比178%)  
**利用金額 3964万円** (前年比234%)

● **さくらこめたまご** ▶ P.11 **利用点数 43万0944点** (前年比97%)  
**利用金額 9676万円** (前年比99%)  
● **恩納村の各種もずく** ▶ P.11 (サンゴ再生もずく基金)  
**利用点数 23万1524点** (前年比111%)



## 5 社会貢献



地域社会の一員としての役割を積極的に担います

### 地域の暮らし・安全を守る

**見守り協定** 23自治体

**包括的な支援協定**  
 南山城村  
 丹後地域（京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町）

### 地域の担い手を育てる

**子育てひろば** 6カ所

**食育活動参加者** 733人

**学習会参加者** 4837人

### 国際社会への貢献

**ユニセフ募金** 702万7235円

**ハンガーフリーワールド  
 書損じハガキ等回収  
 キャンペーン** 690万6937円

**ヒバクシャ国際署名** 4万7580筆



### 2017年度 TOPICS

● **見守り協定が京都府内23自治体に広がりました**  
 2017年度は新たに京丹波エリアが加わり、見守り活動協定の締結先は京都府26自治体の内、23自治体にまで拡大しました。

● **お買物サポートカーの運行が2台増加し7台となりました**  
 2017年5月から新たにコープきぬがさでの運行を開始しました。

● **移動店舗「おかいもの便」の2号車を運行しています**  
 2017年5月より軽トラックタイプの2号車の営業を開始しました。小回りが利き燃費がよいので、狭い道の多い地域や長距離走行に適しています。2号車の導入により、巡回できるエリアが広がりました。

● **運転免許自主返納割引制度導入の準備をすすめました**  
 高齢者による自動車事故が社会問題となる中、満年齢65歳以上の方のみの世帯を対象に、運転免許を自主返納した方をサポートする制度の導入準備をすすめました。

● **被災地復興支援を継続**  
 京都生協は東日本大震災直後から、職員や組合員のボランティアによる被災地や被災者支援のとりくみを行ってきました（宮城県南三陸町の仮設住宅に暮らす住民の皆さんとの餅つきや、震災当時、南三陸町に在住していた中高生を対象とした「海の虹プロジェクト」など）。「海の虹プロジェクト」と餅つきのとりくみは2017年度をもって終了しましたが、引き続きサロンへのお茶菓子として、京都の和菓子の提供や、エリア会を中心に手作りの応援色紙を送るとりくみを行なっています。

### CSR レポート 2017 読者の声を紹介します

● 未就学児親子の支援をこれからも続けてください。

## 地域の暮らしの安全・安心を守る

### 安全運転のとりくみ

法定以上の決まりを独自に設け、地域の模範となる安全運転を心がけています。



### 見守り協定

地域の高齢者などの生活や身体に異変があれば各自治体等に連絡するとりくみです。2017年度は35件の通報がありました。

### 移動店舗「おかいもの便」

生鮮品・総菜などを積んで巡回供給を行なっています。2017年度に2号車の巡回を開始しました。



### 「ゆっくりレジ」のとりくみ

コープ宇治神明で1台のレジをお年寄りや子ども連れの方にも気兼ねなく買い物していただけるよう、「ゆっくりレジ」としています。



事業やとりくみを通じて、地域社会の安全を守り、組合員の暮らしに安心をお届けしています

### 自治体ととりくむ地域防災

発災時は京都府、京都市の要請を受けて支援物資の調達、輸送に協力します。  
 ※京都市とは「災害時における物資の調達及び配送に関する協定」を締結しています。



### 夕食サポート事業

夕食のおかずを週5日宅配するとともに、利用者の様子にも目を配っています。



### お買物サポートカー

週1回、各店舗で50分程度買い物できる買い物補助システムです。店舗から片道15分の範囲内を送迎運行します。車内は地域コミュニティの場としても機能しています。



### フードドライブへの協力

「セカンドハーベスト京都」と「フードバンク長岡京」に賛同・協力し、「コープパリティ」と「コープながおか」「コープ醍醐石田」で取り組んでいます。



### 行政・他団体との提携

#### ■ きょうされん

様々なとりくみを通じてきょうされんの活動を支援しています

- 宅配カタログへの作業所商品掲載
- きょうされん関係のとりくみ参加組合員数 360人
- 2018年「きょうされん全国大会 in 京都」に参加・協力

#### ■ 京都助産師会

公益社団法人 京都助産師会との関係構築をすすめました。2018年度から共同したとりくみを計画しています。

#### ■ 京都府

「京都府モデルファーム運動」に参加しています  
 ● 京丹後市袖志地区の棚田保全運動  
 ● 福知山市三岳地区の京大納言復活運動  
 ● 地域農産物の供給事業





## 地域の担い手を育てるとりくみ

子育て応援や学習会の開催などで、安心して暮らし続けられる地域づくりの担い手を育成しています。

### 子育て応援

子育てしやすい地域を目指して、様々な子育て支援のとりくみを行なっています。

#### お誕生おめでとうプレゼント



京都府内在住で1歳未満の子どものいる家庭を対象に「お誕生おめでとうプレゼント!」企画を実施しています。「子育て応援グッズ」には3298人の応募がありました。

#### 子育てひろば



誰でも参加できる「コープの子育てひろば」を新たに3カ所で開設し、京都府内に6カ所となりました。

#### 子育てサポート割引



妊娠中から2歳までのお子様がおられる家庭の個人宅配の手数料の無料化を継続しています。3万167人が、子育てサポートの割引登録を行い、個人宅配を利用しています。

#### 0歳児からの音楽会



2016年度に好評だった「0歳児からの音楽会」を2017年度は2カ所で開催しました。未就学児の親子を対象とし、参加者からは「子どもを連れて気兼ねなく楽しむことができた」と好評でした。

### 食育

#### 親子料理教室等



親子料理教室などのとりくみを37会場で開催し、733人の参加がありました。

### 学習会

#### 食品ロスを考えあう学習会



家庭でフードロスを防ぐ「食材食べきり＆使いまわし」の学習会を開催しました。講師：奥園壽子さん

#### 「世界の子どもたちと向き合って」の講演会



現代における豊かさや貧困をテーマに、世界の子どもたちや平和についての学習会を開催しました。講師：安田菜津紀さん

## 国際社会の一員として、より良い社会づくりに貢献

### ユニセフ募金

25回目となるユニセフお年玉募金に取り組みました。2017年度は、「ロヒンギャ難民緊急募金」にも取り組みました。



### ハンガー・フリー・ワールド

国際協力 NGO ハンガー・フリー・ワールド\*の「書損じハガキ回収キャンペーン」に協力しました。\*飢餓のない世界をつくるために活動する民間の国際協力団体です。書損じハガキや切手などを集めて換金し、その資金を元にブルキナファソ、ベナンなど海外では4カ国で活動しています。



©ハンガー・フリー・ワールド

### レッドカップ・キャンペーン

飢餓に苦しむ途上国の子どもたちに、栄養価の高い学校給食を届けるためのとりくみです。対象のコープ商品を1つ購入すると、1円が国連 WFP (国連世界食糧計画) に寄付されます。



© WFP/David Longstreath



地球の飢餓を救え。WFP 国連世界食糧計画

## 6 情報開示

組合員参加・コミュニケーションを促進し、情報開示と説明責任を果たします

☎ 組合員コールセンター  
対応件数 **37万3095件**

📄 寄せられた  
YYカードの数 **3572件**

### 生協は、組合員の声が届く組織です

#### ■ 組合員コールセンター

2012年度に設置されて以来、様々な意見・要望を受け付けています。「食品と洗剤類を分けて届けてほしい」など、組合員の声からしくみの改善につなげています。

#### ■ 2017年運用実績

##### 組合員コールセンター電話対応実績

苦情	19万9493件
意見・要望	4万7675件
問い合わせ	11万9442件
合計	37万3095件

### 声を受けて、 くらしをより良くするために

実現しました!

組合員要望  
ドレッシングのペットボトル部分からキャップを外すのが大変。リサイクル推進のために改善してもらえると嬉しいです。

キャップの下部にタブをつけ、それをひっぱればきれいにとれるように仕様を変更しました。



実現しました!

組合員要望  
りんごジュースのフタがカチッと閉まらないので、しっかり閉まるように改善を要望します。

現在、しっかりフタが閉められるスクリュウタイプへ変更する準備を行っております。



### 2017年度 TOPICS

- 組合員の声から、ドレッシングやりんごジュースのキャップ部分を改善しました。

組合員からの意見・要望をしっかりと受け止め、より良いサービスを追求しています。

#### ■ YYカード(よくする & よかったよカード)

「YYカード」は支部や店舗で組合員の商品に関する苦情・意見・リクエストなどを記入するカードです。受け付けたカードは「組合員の声対応事務局」が迅速・丁寧・正確を目標に回答をすすめるとともに、組合員・職員・取引先とのコミュニケーション促進にも役立てています。

カードはこんなことに役立てられます

苦情→調査・分析を行い、原因究明と再発防止対策を行う  
意見・質問→関係部局で事業に活かすための検討会議を実施  
リクエスト→商品案内や店舗の品揃えの改善

##### 寄せられたYYカードの数

苦情	2609件
意見・質問	840件
リクエストなど	123件
合計	3572件

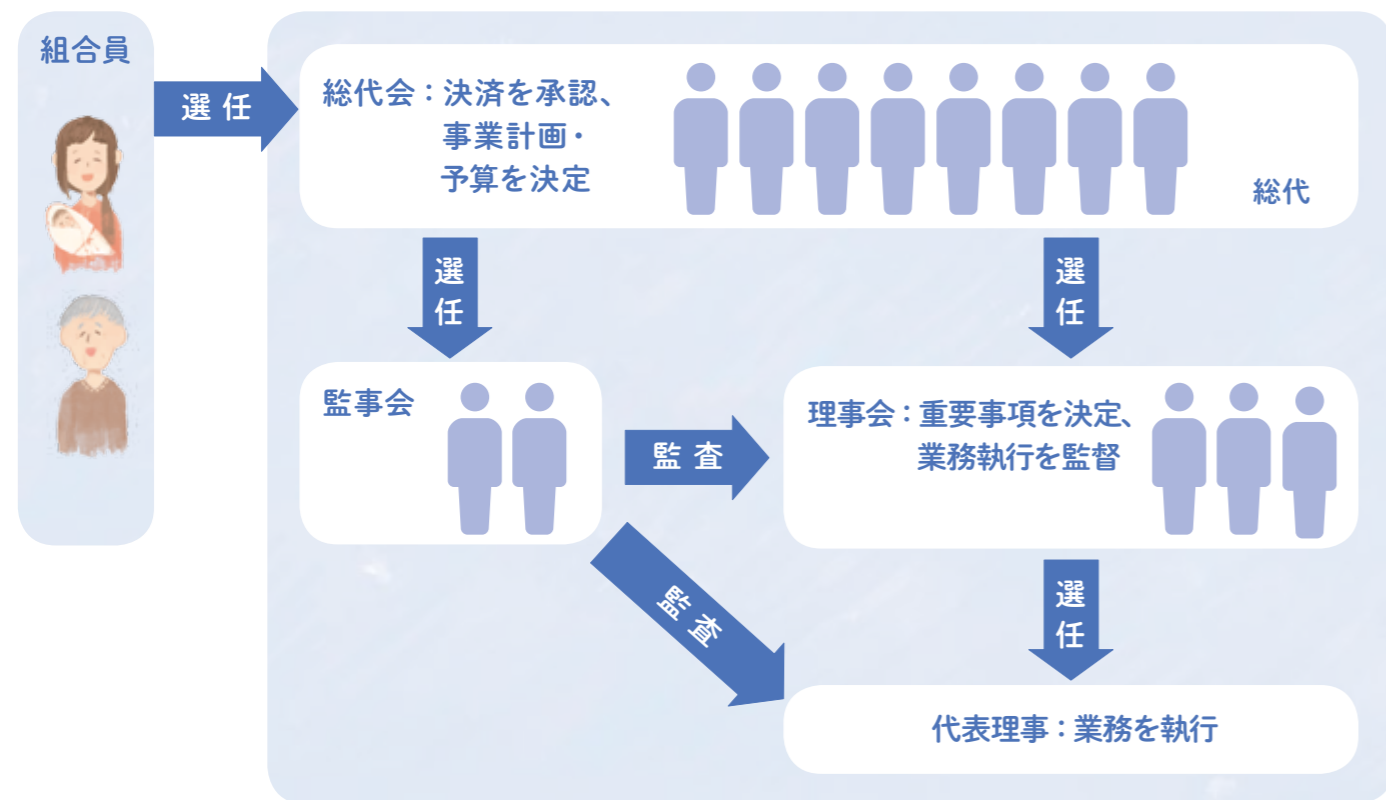
改善要望をしっかりと検討し、なるべく多くの声を実現できるように努めています。



## 適正な運営を すすめるためのしくみ

生協が社会的責任を果たすためには、「機関運営」が適正に行われることが必要です。生協で機関にあたるのは、最高議決機関としての「総代会」、総代会決定に基づいて財産管理を含む業務執行全般についての重要事項を決定する「理事会」（生協を代表して業務を執行する「代表理事」を含む）、理事による業務執行の状況を監査し、適切な業務が行われるようにする「監事」（監事会）です。

### 〈生協の機関〉



生協の最高議決機関

#### 総代会

総代が組合員の代表として、決算や方針・予算などの議案について決定します。総代に必要な情報と理解を深めるための話し合いの場として、地区別の総代会議や懇談会を開催しています。新しく総代になられた方には、オリエンテーションを開催しています。

重要事項の決定機関

#### 理事会

毎月の理事会では業務の遂行状況を確認し、必要な意思決定を行っています。第53期の体制は組合員理事12人、有識理事5人、代表者として業務を執行する代表理事2人を含む常勤理事4人の21人です。2017年度は理事会を13回開催しました。

適切な業務の監査役

#### 監事会

常勤監事1人、有識監事3人、組合員監事2人の6人体制で理事の職務の執行を監査しています。理事会その他重要な会議への出席、業務と財産の調査等を実施し、総代会にて監査の結果を報告します。2017年度は監事会を毎月、代表理事との会合を年4回開催しました。

#### 総代会決議

2017年6月8日に開催された第53回通常総代会では500人の総代出席（委任・書面議決含む）により、第1号から5号までの全議案を賛成多数で可決しました。

★総代会の様子は機関紙「コーポロ」・ホームページを通じて総代以外の組合員にもお知らせしています。



各機関がそれぞれの役割を果たすことで、  
適正な運営がすすめられます。

## 7 経営責任



健全で強い事業経営を築き、  
組合員から負託された経営責任を  
果たします



▲宅配事業の職員研修

### 2017年度 TOPICS

● 経常剰余金予算を達成しました

## 社会的な役割を發揮するための組織運営

### ■ マネジメントシステムの運用

京都生協では、「めざすべき方針や目標を定めて、その目標を達成させるためのシステム（しくみ）」として、ISO9001を参考に、総合的な「業務マネジメントシステム」を運用しています。ISO9001の項目に沿って仕事の改善をすすめ、組合員満足の向上、商品・サービス品質の向上、事業計画の達成を目指しています。

#### ISO 9001とは

品質マネジメントシステムに関する国際規格です。最も普及しているマネジメントシステム規格であり、全世界で170カ国以上、100万以上の組織が利用しています。

### ■ 内部統制課題の整備

社会的な役割を發揮するためには、公正で健全な組織運営が不可欠です。内部統制の構築はその基盤ととらえています。京都生協では2010年に「内部統制基本方針」を定め、下の4つの目的を達成するために、毎月開催するリスク管理委員会が整備計画の進捗管理を行っています。また、独立の立場で経営諸活動の全般にわたる制度及び業務執行状況を監視・検証するとともに、内部統制システムの構築の進捗状況、運用状況や有効性等についてモニタリングを行うため、内部監査担当による監査を実施しています。

業務の有効性および  
効率性

財務報告の信頼性

事業活動に関わる  
法令等の順守

資産の保全

### ■ コンプライアンス体制の推進

倫理・法令や社会規範、職場のルールを守り、正直で誠実な事業と活動をすすめるための職員教育にとりこんでいます。2005年に「コンプライアンス基本方針」「コンプライアンス自主行動基準・順守事項」を定めて以来、毎年のCSR教育で全職員に配布する「コンプライアンス自主行動基準・順守事項Q&A」冊子に、パワーハラスメント、ネット上での情報発信、反社会的勢力との関係断絶、飲酒運転の撲滅などに関する注意喚起を掲載して啓発に努めています。

#### 個人情報保護

業務上のルールを明確にし、個人情報の適正な取得・利用・管理に努め、適正利用と安全管理を義務付けています。

- 業務PCからのデータ持ち出しを防止するセキュリティ対策
- 個人情報事故（紛失など）報告書の提出義務付け、原因分析と再発防止の対策を確認

#### ヘルプライン窓口の設置

法律や生協内のルールに違反した行為についての通報を受け付けるコンプライアンス相談窓口（ヘルプライン）を外部に設置し、職員・取引先への周知を行っています。通報者は規程により不利益な処遇を受けません。

### CSR レポート 2017 読者の声を紹介します

- 方針やルールをきちんと理解し、意欲的に仕事することが大切だとわかりました（職員）。



京都生協とともに、  
組合員のくらしをサポート

## 京都生協グループ

京都生協グループの5つの子会社をご紹介します。



### (株)京都コープサービス

組合員向けにくらしの快適さや安心をサポートするサービスを提供します。

#### 取り扱い事業

●ハウジング(住宅リフォームなど) ●保険(生命保険、自動車保険など) ●文化サービス(くらしのサービスの各種斡旋、カルチャー教室の運営など) 設立:1977年 資本金:5000万円 売上高:5億397万円 役員・社員数:48人



### 京都協同食品プロダクト(株)

京都生協の加工センターです。組合員の要望や願いに応えられる商品づくりを目指し、水産・畜産の調理生産や加工食品の製造、販売を行なっています。

●水産部門(店舗事業と宅配事業の水産物の調理加工) ●畜産部門(京都生協産直の「産直鳥取牛」「産直(飛騨・大山)あじわい豚」を中心とした加工) 設立:1982年 資本金:9050万円 売上高:41億3610万円 役員・社員数:133人



### (株)コープネットワークサービス

京都生協の物流部門を中心に、宅配事業の一部やその他業務を担っています。

●運送事業(物流管理、個人宅配) ●販売事業(環境衛生管理用品、事務用品、照明球・器具の販売) ●請負事業(業務請負) ●警備事業(常駐警備・保安警備・交通警備・臨時警備等) ●農産加工事業(農産品の加工、検品) ●注文受付業務(宅配注文の電話受注) ●エコ・リサイクル事業(一般廃棄物収集・運搬及び処理、資源のリサイクル及び有効利用) 設立:1997年 資本金:2500万円 売上高:52億9850万円 役員・社員数:261人



### (株)コープストアサービス

京都生協の8店舗でインスタペカリーの業務運営を行なっています。

●店舗ペカリー運営業務委託請負事業

設立:2004年 資本金:1000万円 売上高:1億4063万円 役員・社員数:124人



### (株)ハートコープきょうと

障がい者がやりがいをもち、長く働き続けられる環境を整備し、今後の障がい者雇用を広げていく基盤づくりのために、京都生協の特例子会社として設立されました。

●宅配コンテナ洗浄 ●リサイクル事業(古紙回収、リサイクル品の加工・販売) 設立:2013年 資本金:1000万円 売上高:1億2028万円 役員・社員数:14人(うち障がい者11人)



「食」「くらし」「物流」「環境」などの分野で  
京都生協と協力しながら、  
組合員のくらしを支えています。



## 外部審査の結果

### 〈KES 登録審査〉

#### 審査機関

■ 特定非営利法人 KES 環境機構

KES とは

Kyoto = 京都  
Environmental Management System = 環境マネジメントシステム  
Standard = スタンダード

京都議定書の発祥地、京都から発信された「環境マネジメントシステム」の規格です。取り組みによって地球の環境改善に結びつけるものです。

#### 規格の内容

**ステップ 1** 規模や環境負荷が比較的大きくないところや、環境問題に取り組み始めたところに適合。

**ステップ 2** 規模や環境負荷が比較的大きいところや、ステップ1からのステップアップに適合。

**ステップ 2SR** ステップ2に「持続可能な発展への貢献を最大化する」ことを目的として発行されたISO26000(社会的責任に関する手引き)の要素を導入し、取組の幅を広げた規格。

**ステップ 2En** ステップ2に「エネルギーパフォーマンスの改善」を目的として発行されたISO50001(エネルギーマネジメントシステム)の要素を導入し、取組の質を深めた規格。

#### 監査結果

KES ステップ 2SR に適合していると判断されました。

#### 監査対応

- ◆受審組織 京都生活協同組合
- ◆審査実施日 2017年9月13日
- ◆適用規格 KES ステップ 2SR
- ◆審査目的 京都生協のマネジメントシステムが、KES ステップ 2SR の要求事項に適合しているかを審査すること。



### 2017年度 TOPICS



平成26~28年度の3年間に、各団体で計画した環境配慮に対する基本方針をきちんと実行できた団体に選ばれ、表彰されました。

● 京都生協のCSRレポート2017が、第21回環境コミュニケーション大賞を受賞  
優れた環境報告書や環境活動レポートなどを表彰することにより、事業者などの環境経営および環境コミュニケーションへのとりくみを促進するとともに、環境情報開示の質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。京都生協が毎年発行している「CSRレポート」(事業・社会・環境活動についての報告書)で、くらしを支えている地域の報告者という立場から、各分野のとりくみを行なっていることが表現されている点や、地域防災のとりくみ、小売電気事業を取り上げている点が評価されました。